

2014年7月刊行

ジャン・ニコラ・ルイ・デュラン  
**建築講義要録**

丹羽和彦・飯田喜四郎 訳

本体価格 7,500 円+税

B5判横開き・上製カバー装

本文 232 頁 (図版頁 78 頁)

ISBN 978-4-8055-0722-3 C3052

経済性・実用性を重視した革命的な建築理論に  
よって、ヨーロッパ全体に影響を与えた

J・N・L・デュラン。

その理論を、フランス国立理工科学校の  
学生に向けて説いた講義の本邦初訳。

「デュランのエコール・ポリテクニクにおける講義は1802年から『建築講義要録』と題して出版された。この書物は多くの版と翻訳を重ね、このことがこの書を19世紀前半のヨーロッパにおける最も重要なものとしたのであった。デュランは建築と土木工学における増大する多様化に対し、それらが後世に結局は自身の存在理由を持つ領域になるであろうことを認識しつつ、特に注目していたのである。彼の建築の一般的定義は、その「私的公的両面における有用性、保護性、個人、家族、社会の幸福」に対して重点を置くことにおいて、アルベルティを想起させるように見える。」

(クルフト『建築論全史II』より)

お取り扱いは

**中央公論美術出版**

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7

Tel: 03-3561-5993 Fax: 03-3561-5834

## 本書の概要

本書『建築講義要録』は、近代における技術者の多数教育の原点となった、フランスの国立理工科学校において、1799年から1834年まで建築概論の講義を担当した建築家・美術理論家ジャン・ニコラ・ルイ・デュラン教授の講義録・全2巻を邦訳し、言及されている筆者の著作『比較建築図集』の図版を補足として加え、1冊にまとめ刊行するものである。

## 目次

### 建築講義要録 I 巻

序論  
 建築の重要性、その目的、達成の方法  
 研究方法、講義計画、図面の種類  
 第1章 建物の諸要素  
 第1節 建築材料の質  
 第2節 建物の諸要素を  
     建設する材料の用法  
 第3節 形態と比例  
 図版

第2章 設計原論  
 第1節 建築の要素の組み合わせ  
 第2節 建物の各部分の形成  
 第3節 建物全体  
 図版  
 補遺  
 第1節 材料の性質  
 第2節 材料の用法

### 建築講義要録 II 巻

序論  
 第3章 主要な種類の建物の検討  
 第1節 都市の主要な部分  
 第2節 公共建築  
 第3節 私有建築  
 図版  
 比較建築図集  
 あとがき

## 著者について

### ジャン・ニコラ・ルイ・デュラン Jean-Nicolas-Louis Durand (1760-1834)

フランスの建築家、美術理論家。ブーレーの弟子で、パリの工科大学で建築学の教鞭をとった。理論書に優れたものがあり、そのなかの本書『建築講義要録 (Précis des leçons d'architecture)』では、建築の経済性および実用性を強調し、対称性をもつ秩序ある形態を推奨した。したがって、幾何学的には明晰である反面、幾分冷たさを感じさせる形式が生まれた。彼の建築理論は、フランスばかりでなく、ヨーロッパ全体、とくにドイツにおいて大きな影響を与えた。 (参考・『世界美術大事典4』小学館、1989)

## 訳者略歴

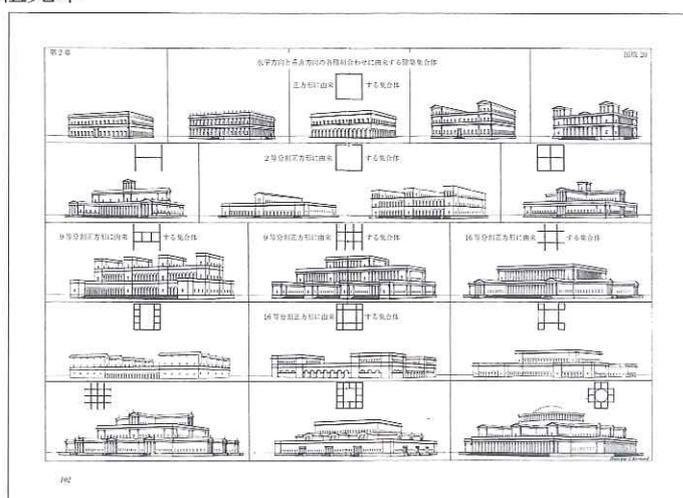
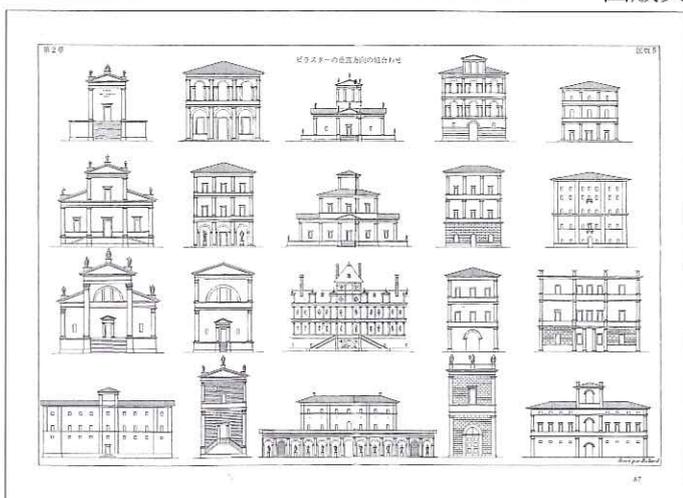
### 丹羽和彦 (にわ・かずひこ)

1951-2012。名古屋大学工学部卒業後、日本電信電話公社入社。フランス政府給費留学生としてエコール・デ・ボザール第三課程(博士課程)留学。電電公社退社後、名古屋大学建築学科助手、広島大学工学部教授などを経て佐賀大学理工学部教授。

### 飯田喜四郎 (いいた・きしろう)

1924-。名古屋大学名誉教授・愛知工業大学客員教授。著書に、『ゴシック建築のリブ・ヴォールト』(1989)、訳書に、『建築講話 I』(1986)、共訳書に、『建築シンボリズム』(2002)、『ゴシック建築大成』(2011) など (いずれも中央公論美術出版)。

## 図版頁・組見本



## 《関連書籍》

『建築講話 I』(1986年)

ヴィオレ＝ル＝デュック著/飯田喜四郎訳

本体価格 28,000円

『建築論全史 I・II』[全2巻](2009年・2010年)

ハンノ・ヴァルター・クルフト著/竺 覚暁訳

本体価格 第 I 巻 30,000円 第 II 巻 35,000円

『建築家アンリ・ラブルースト』(2014年)

ピエール・サディ著/丹羽和彦訳 福田晴彦編

本体価格 3,200円

『建築史 上・下』(2008年)

オーギュスト・ショワジエ著/桐敷真次郎訳

本体価格 上巻 45,000円 下巻 60,000円

『ゴシック建築大成』(2011年)

パウル・フランクル著/ポール・クロスリー校訂

佐藤達生・辻本敬子・飯田喜四郎訳 本体価格 58,000円

『西洋建築史 I』[全2巻](2014年)

デイヴィッド・ワトキン著/白井秀和訳

本体価格 30,000円

※第 II 巻、2014年度発売予定。